

第5回TPP委員会  
西村経済再生担当大臣 冒頭発言（仮訳）

- ◇ 6月の第4回TPP委員会に続き、第5回TPP委員会を開催することを、大変光栄に思います。
- ◇ CPTPPの発効以来2年半以上の間、私たちは着実に協定を実施してきただけでなく、新型コロナウイルス感染症のパンデミック下においてなお、一連のウェビナーを開催する等、CPTPPの参加国間の協力を前進させるための取組を強化してまいりました。
- ◇ 更に、現在、私たちはCPTPPに更なる価値を付加するために共に取り組んでいます。6月のTPP委員会で、私たちは英国との加入手続の開始を決定し、CPTPPの歴史に新たな章の始まりを刻みました。7月には、私たちの重要なパートナーである、ペルーが8か国目のCPTPPの締約国となるための国内手続を完了した旨を通報し、これによりCPTPPコミュニティ全体が、協定の恩恵をより多く受けることができるようになるでしょう。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症による世界経済の不確実性は依然として存在しています。しかし、私は、CPTPPのように革新的でハイスタダードな協定は、パンデミックの影響からよりよい形での復興を果たすために重要な貢献をすると強く信じています。
- ◇ 私は、本日のTPP委員会が、協定の全体的な実施について議論し、CPTPP参加国の更なる協力や連携を模索することを通じて、CPTPPの発展に一層の弾みをつけることを期待しています。
- ◇ 本日、CPTPPの皆様と、充実した議論を行うことを、大いに楽しみにしています。